

京葉交通圏における特定地域指定基準への適合状況

《適正車両数》

✓ 平成 26 年度末車両数	1,514 両
✓ 適正車両数	1,453 両～ 1,287 両
✓ 平成 26 年度末車両数（上限）との乖離車両数（乖離率）	61 両（4.0 %）

《指定基準》

（1）実働実車率の要件

減少率 14.5% 平成13年度 44.3%→平成26年度 37.9%

（2）赤字車両数シェアの要件

収支差 2.5ポイント 平成25年度 51.6%→平成26年度 54.1%

（3）人口要件

船橋市 約62万人、市川市 約48万人

（4）総実車キロの要件

増加率 ▲2.2% 平成25年度 39,281,032km→平成26年度 38,411,134km

（5）次の①から③のいずれかに該当すること。

① 日車営収又は日車実車キロの要件

日車営収 減少率 8.8% 平成13年度 38,407円→平成26年度 35,038円

日車実車キロ 減少率 16.5% 平成13年度 103.0km→平成26年度 86.0km

② 法令違反の発生状況の要件

京葉交通圏 0.0395件（全国平均 0.0511件）

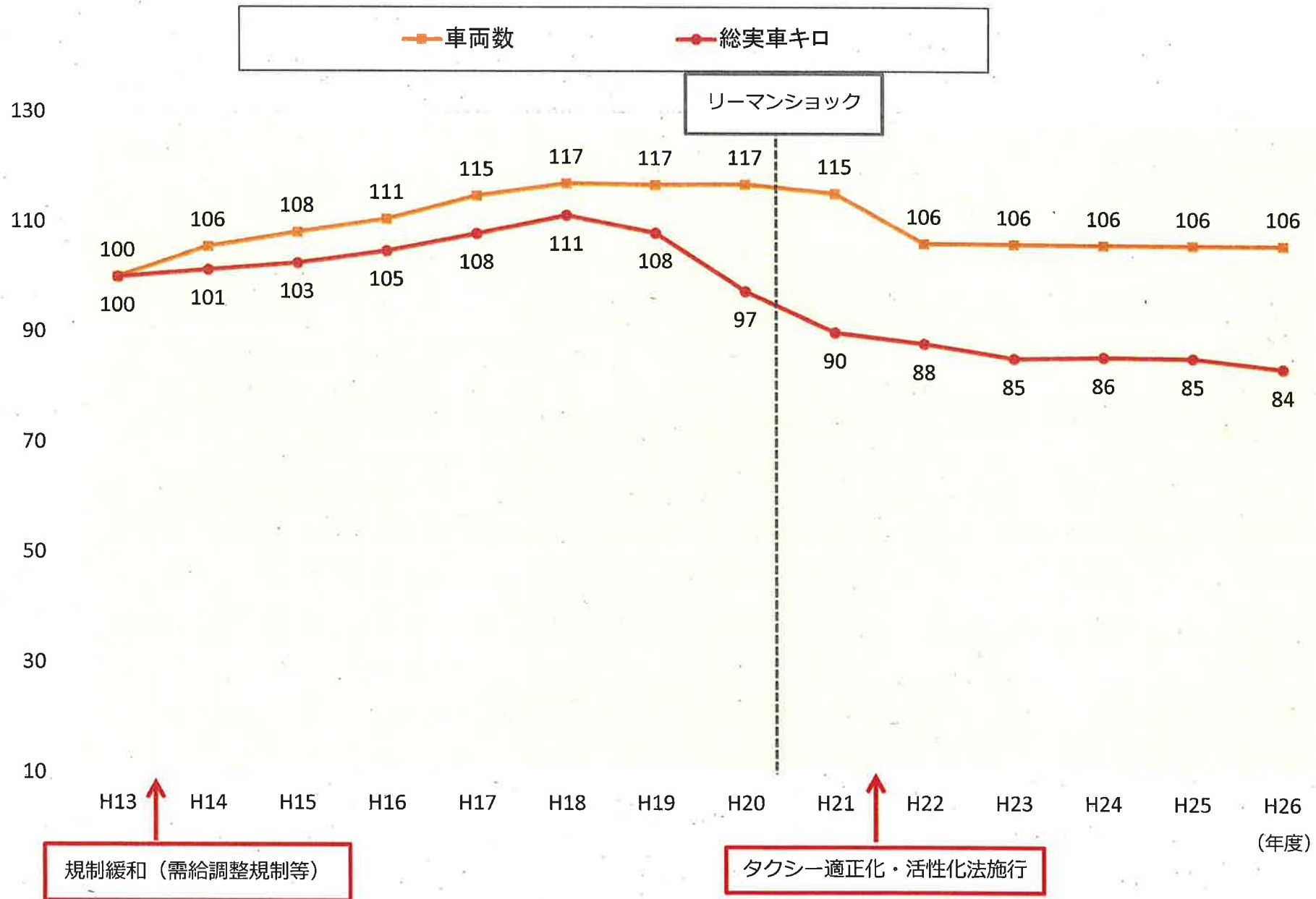
③ 事故の発生状況の要件

京葉交通圏 8.107件（全国平均 7.607件）

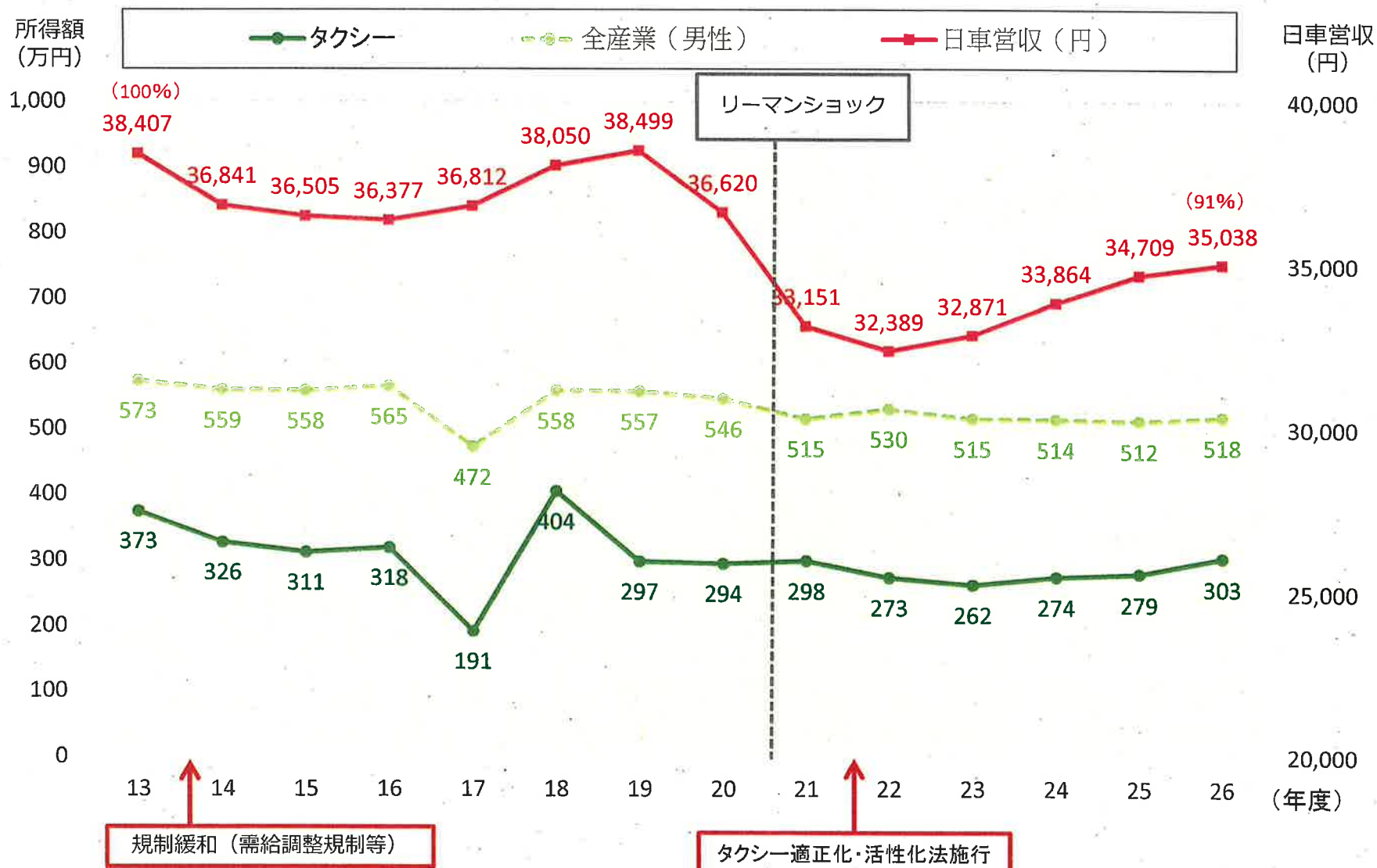
（6）当該営業区域における協議会の同意があること。

3月10日付けで協議会より「指定に同意する」旨の報告あり

車両数（供給量）と実車走行キロ（需要量）の推移（京葉交通圏）



タクシー事業における日車営収と年間所得の推移（京葉交通圏）



注1 日車営収：実働1日1車当たりの運送収入（毎年度）

注2 年間所得資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」により国土交通省が推計した値

平成28年3月10日

国土交通大臣 殿
(関東運輸局長 経由)

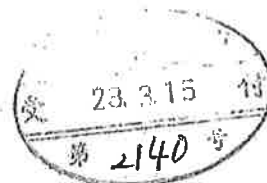
京葉地区タクシー事業適正化・活性化協議会

会長 榛澤 芳雄



特定地域の指定に関する決議について (報告)

平成28年3月10日に協議会を開催し、特定地域の指定に関する議論を行った結果、特定地域の指定に同意するとの結論に至りましたので報告致します。



京葉地区タクシー事業適正化・活性化協議会構成員名簿

(順不同・敬称略)

平成28年3月10日現在

区分	団体名・役職等	構成員氏名	代理出席者役職	代理出席者氏名
関係地方公共団体	千葉県総合企画部交通計画課長	穴澤 幸男	副主査	山口 智之
	市川市長	大久保 博	交通計画課 主幹	岩崎 孝雄
	船橋市長	松戸 徹	都市計画課交通政策室長	日下田一己
	習志野市長	宮本 泰介	都市計画部都市計画課 係長	森川 善文
	八千代市長	秋葉 就一	(欠席)	(欠席)
	鎌ヶ谷市長	清水 聖士	都市計画課都市政策室 室長補佐	河本 好範
	浦安市長	松崎 秀樹	都市政策課 課長	金子 吉直
タクシー事業者等	一般社団法人千葉県タクシー協会長	篠崎 敦		
	千葉県個人タクシー協会長	栗山 正三		
	市川交通自動車株式会社代表取締役社長	三上 功		
	有限会社武藤自動車代表取締役社長	武藤 厚		
	有限会社丸十タクシー代表取締役社長	徳田 昭		
	エムティ有限会社イースタン 代表取締役社長	古知 愛一郎		
	京葉タクシー有限会社 代表取締役社長	吉田 英聖	(欠席)	(欠席)
みさきタクシー有限会社 代表取締役社長	李 朗	所長	花山 弘之	
労働組合等	全国自動車交通労働組合総連合会千葉地方本部執行委員長	小林 正勝		
	全国交通運輸労働組合総連合千葉県交通運輸労働組合執行委員長	櫛田 勇		
	全国自動車交通労働組合連合会千葉地方連合会執行委員長	佐藤 豊		
地域住民	一般社団法人千葉県商工会議所連合会長	石井 俊昭	事務局長	梶村 一郎
学識経験者	日本大学名誉教授 工学博士	榛澤 芳雄		
その他関係者	千葉県警察本部交通部交通指導課長	林 健一郎	(欠席)	(欠席)
	千葉県警察本部交通部交通規制課長	杵淵 賢二	係長	太田良 照寿
	千葉労働局労働基準部監督課長	江口 勇次		
	東日本旅客鉄道株式会社千葉支社総務部企画室長	小林 千佳	主席	渡辺 竜平
	千葉県タクシー運転者登録センター所長	川島 孝之		

タクシー特措法による適正化・活性化の取組状況について（京葉交通圏）

適正化に向けた取組（活性化事業計画の認定状況）

- 事業者数（H28.3末）： 34社
- 活性化事業計画認定事業者数： 34社
- 事業再構築（減車・休車）を定めた事業者数： 28社
- 基準車両数（旧特措法に基づく基準車両数）①： 1,684両
- 現在車両数（H28.3末）②： 1,507両
- 減休車率（① - ②） / ①： 10.0%
- 適正車両数： 1,453～1,287両

活性化に向けた主な取組事例

外国人旅客接客研修

千葉県内には日本国内でも有数の外国人が来訪している「成田国際空港」、「東京ディズニーリゾート」等の施設があり、それらを訪れる外国人にとって初めて触れる日本人といっても過言ではない「タクシードライバー」の方々が“おもてなしの心”を体現するためには外国語による旅客接客や各国の文化を学ぶ必要があることから、平成26年度から現在まで計4回の研修を開催し、156名が受講している。



ロールプレイングによる実習

子育て世代、妊婦支援を目的としたサービス

◇子育て世代支援

- ・ 通園・通学・通塾時等の子供1人の乗車に対応
- ・ 自宅や保育所等の中までの引率サービス

◇妊婦支援

- ・ 定期健診や陣痛時の病院への送迎サービス
- ・ 研修を受けた運転者の乗務
- ・ バスタオルやビニールシート等の車内備品を用意
- ・ 利用者は事前登録等により自宅・病院への道案内不要



ユニバーサルドライバー研修

千葉県内において、平成24年度から現在まで計4回実施。133名が受講している。

タクシーのバリアフリー化を目的として、UDタクシーの導入等によるハード面その他、乗務員によるソフト面での対応を充実させるために、接客や介助について、乗車・降車時の車いすの取り扱い方について等の研修を行っている。

